

森林・山村多面的機能発揮総合対策

【4, 655（3, 000）百万円】

対策のポイント

森林の有する多面的機能の発揮に向け、山村における地域活動に対する支援を充実、強化します。

<背景／課題>

- ・森林の有する多面的機能の発揮に向け、適正な森林整備・保全を図ることが必要ですが、林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化等により、地域住民と森林との関係が希薄化しています。
- ・そのため、山村地域の活性化等に向け地域の実情に応じた支援策を充実・強化することが不可欠です。

政策目標

- ・全国1,600地域で地域の特性に応じた森林の保全管理や山村活性化の取組を推進（平成26～28年度）

<主な内容>

1. 森林・山村多面的機能発揮対策

（1）森林・山村多面的機能発揮対策交付金 4, 547（2, 985）百万円

里山林等の保全管理や森林資源を利活用する活動等に加え、森林施業技術の向上に向けた研修活動、森林資源を適切に管理するための活動など、地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して行う、以下の取組に対し支援します。

①地域環境保全タイプ

集落周辺の美しい里山林を維持するための保全・整備活動、高密に侵入したモウソウ竹等の竹林の伐採・除去や利用に向けた取組。

②森林資源利用タイプ

集落周辺の里山林に賦存する広葉樹等未利用資源を地域の生活のために利用することを目的とした木質バイオマス、しいたけ原木等の広葉樹等未利用資源の供給及び活用。

③森林空間利用タイプ

森林環境教育や森林レクリエーション活動等。

④森林施業技術向上タイプ

森林施業技術の向上に向けた研修活動。

⑤森林資源管理タイプ

作業道の維持管理や病虫獣害の蔓延、誤盗伐、山火事、不法投棄等の防止など地域の森林資源を適切に管理するための日常的・基礎的活動。

⑥林地情報整備タイプ

市町村が中心となって地域住民等の協力を得ながら行う不在村森林所有者等の探索・連絡、国土交通省の地籍調査等とも連携した境界明確化のための測量、得られた情報の共有・活用等の活動（国有林においても、民有林の境界明確化を積極的に支援するため、境界の測量等を連携して実施）。

⑦機材及び資材の整備

上記①～⑥（③を除く）の実施に必要な機材及び資材の整備。

（補助率：定額（1／2相当）
事業実施主体：地域協議会）

（2）森林・山村多面的機能対策評価検証事業

15（15）百万円

森林・山村多面的機能発揮対策による活動の成果について、評価及び検証を実施します。

（委託費
委託先：民間団体）

2. 森林整備地域活動支援交付金

（1）森林経営計画の作成に必要なとなる地域活動への支援

森林経営計画の作成に必要な森林調査や合意形成活動等に対する支援に加え、林業経営に関心が低い不在村森林所有者等の現地立会等に必要な経費に対して支援するなど支援を強化します。

（2）森林施業の集約化に必要なとなる地域活動への支援

森林経営計画に基づき実施する集約化施業に必要な森林情報の収集（立木調査、路網調査等）、境界の確認、森林所有者の同意の取り付け等の活動に対して支援します。

（3）森林の保護・保全活動への支援

森林経営計画に即して、計画的かつ一体的な森林施業を実施する上で必要な、森林の保護・保全活動（巡視や防護柵の補修等）に対して支援します。

※平成26年度については、既存基金の活用により事業を実施。

（補助率：定額（1／2相当）
事業実施主体：市町村）

[お問い合わせ先：林野庁森林利用課（03-3501-3845）]

〈関連対策〉森林整備等への民間資金活用調査実証事業〔新規〕121（一）百万円

民間資金を活用した森林整備の国内外の制度・事例の調査、民間資金の活用に対する企業・国民の意識や関心に関する情報収集・分析等を行うとともに、次年度以降の実証に向け、企業の業種等に応じた類型別に森林整備への協力が企業経営にもたらす効果の分析や企業ニーズの詳細把握等を実施します。

（委託費
委託先：民間団体）

[お問い合わせ先：林野庁森林利用課（03-3502-8240）]